

1階と2階をつなぐスロープ



広い廊下から眺める普通教室



図書室



木 工 室



学校概要

敷地面積 30,724 m² 延べ床面積及び構造

校舎 6, 286. 70 m²

管理特別教室棟 (RC造2階建て) 普 通 教 室 (木造平屋建て) 特別支援学級棟 (木造平屋建て)

屋外施設 393.18 m²

屋外トイレ・倉庫 (RC造平屋建て) ポンプ・プロパン庫 (RC造平屋建て)

渡り廊下 (S造平屋建て)

プール (RC造平屋建て)

体育館 1,386.45 ㎡ (RC造2階建て) 学童保育施設 127.99 ㎡ (木造平屋建て)

合計 8, 194. 32 m²

総事業費 約21億4千万円



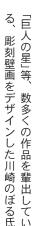
▲記念品を受け取る木村駿一君



▲お礼の言葉を述べる奥田佳穂さん

たくさんの思い虫を 作りたい…

全校児童を代表して、益城 中央小学校新校舎落成記念品 を6年生の木村駿一君が受け 取りました。また、奥田佳穂 さんが、「中央小学校児童は、 全員が、新しい校舎の完成を 心待ちにしていました。私た ち6年生が卒業する前に新し い校舎が出来上がり、勉強を することができて嬉しいです。 短い間ですが、1日1日を大 切に過ごして、新校舎での初 めての卒業生として思い出を たくさん作って卒業したいと 思います」とお礼の言葉を述 べました。





益城町から 竜の背にのって未来へと飛び立とう!

益城町を代表する建物、阿蘇くまもと空港より、竜の背にのって子どもたちが未来へと夢を持って飛び立って

いって欲しいという願いを込めたデザインを考えました。 益城の竜については、およそ9,000万年前に生存した 翼竜の化石が、広く益城と呼ばれる地域で多数みつかっ ているし、益城町内の蔵の壁にも竜の彫刻が生きており、 益城町とつながりの深い伝説の生き物だと感じます。

土が良く、水のきれいな益城。そこから益城町の子ど もの成長と、益城町民の幸福、ひいては益城町の発展の 願いをこの作品の中で表現しています。

※彫刻壁画デザインコンセプトから